

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月29日

協議会名: 茂原市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
<p><b>【市民バス】</b></p> <p>事業者: 小湊鐵道株式会社 運行系統: 南部(鶴枝)・南部(五郷)</p>	<p>南部(鶴枝): 茂原駅～三ヶ谷神社～茂原駅 南部(五郷): 茂原駅～石神集会所～茂原駅</p>	<p>・電車との乗継利便性の向上等の理由により、時刻表改正を行った。 ・新たに「茂原市交通マップ」を作成し、市内の各公共施設や鉄道駅等に配布した。 ・福祉部局と連携し、市内のケアマネージャー等を対象とした公共交通に関する説明会を実施した。 ・運賃収入以外の収入源の確保のため、市民バスの車体に有料広告の掲載を行った。</p>	<p>A 計画どおり事業は適切に実施された。</p>	<p>B 前年度よりも北部(豊岡)コースは1,289人(32.1%減)、東部コースが6,309人(12.6%減)、南部(鶴枝)・南部(五郷)コースは10,171人(12.6%減)と全てのコースで利用者数が減少した。全体では、3,001人の減、前年度比で14.4%の減となっている。新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少した一因と推測される。</p>	<p>・運賃収入以外の収入源の確保のため、引き続き市民バスの車体等に、有料広告を募集し掲載を行う。 ・広報・自治会への回覧等を通じ、さらなる周知を図ると共に、必要に応じて地元説明会等を実施する。 ・市民バス及びデマンド交通共通の回数乗車券の周知に努め、公共交通の利用促進を図る。</p>
<p><b>【デマンド交通】</b></p> <p>事業者: 都自動車株式会社 運行系統: 北西エリア</p>	<p>茂原市北西エリア</p>	<p>・新たに「茂原市交通マップ」を作成し、市内の各公共施設や鉄道駅等に配布した。また、広報で周知を図った。 ・福祉部局と連携し、市内のケアマネージャー等を対象とした公共交通に関する説明会を実施した。</p>	<p>A 計画どおり事業は適切に実施された。</p>	<p>A 利用登録者数は、以前の目標(500人)を達成できたため、見直しにより新たに目標値を750人に設定した。前年度から41人増加している。利用者数は、目標値の10人/日以上を達成できた。前年度と比較すると7人の増、前年度比では0.4%の増となっている。 ・運賃収入の半分以上が回数乗車券であることから、回数乗車券の導入により利用促進効果があったと推測される。また、利用者のほとんどが60歳以上であることから、交通弱者の移動手段が確保され、外出機会の増加に大きく寄与している。</p>	<p>・利用需要の高い高齢者を中心とした利用促進策を講じて、利用者の拡大に努める。 ・広報・自治会への回覧等を通じ、さらなる周知を図ると共に、必要に応じて地元説明会等を実施する。 ・市民バス及びデマンド交通共通の回数乗車券の周知に努め、公共交通の利用促進を図る。</p>

評価基準

④事業実施の適切性

- A: 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された
- B: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった
- C: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

⑤目標・効果達成状況

- A: 事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)
- B: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)
- C: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)